



令和4年度始まる よろしくお願ひします

【入学式 式辞より抜粋】

富士見中学校は、昭和24年に旧第三・第五の二つの中学校が統合され、新たな中学校として誕生しました。開校以来、「文武両道」の精神を受け継ぐとともに、自分たちで考え取り組む自主・自立の校風が育まれてきました。こうした伝統を大切に守り育て、さらに充実・発展させ、新たな伝統として後輩へ引き継いでいくことを皆さんに期待しています。

そのためには、クラスや学年、学校がやりがいのある場となるよう、自分で考え、仲間と協力をしながら、行動していくこと。その中で、自分の夢や希望に近づいていくことができるよう、個人としても成長していくことが大切です。

特に、中学校の三年間は、体も大きく成長しますが、それ以上に、心の成長や変化も著しい時期と重なります。不安を感じたり、自信を無くしたりすることもあるかもしれません。そこで、中学生として出発する励みとなるよう、今日は竹の話をしします。

皆さんも知っているように、竹は一直線に空を目指して伸びています。他の樹木と比べると、高さに比べて、幹が細いこと。しかし、厳しい気候に負けない強さとしなやかさを持っています。

竹が強さとしなやかさを持つ理由の一つは、節目があることです。

この節目があるからこそ、強風や積雪に、くの字に折り曲がっても耐え抜き、簡単に折れることはありません。皆さんの成長にも、この節目が大切です。学校生活では、一年という長い節目もありますが、学期や毎月、毎週、毎日といった節目もあります。しかし、節目は時間とともに増していくものではありません。夢を持つことは大切ですが、「夢は目指した時から目標に変わる」とも言われます。目標を持ち、意識をして取り組み、自分の節目を作っていくてください。

二つ目の理由は、竹の根です。竹は土からタケノコとして顔を出した後、一気に成長します。その後は、成長が止まっているように見えますが、根を深く、広く張ります。一年で5m以上も根が伸びた記録もあります。

このように、成長としては目に見えない根が、台風でも倒れない強さやしなやかさを支える基礎となっています。皆さんの成長にも、心と体を育てる栄養を吸収し、困難にも揺るがない土台として根っこが必要です。しかし、根も節目と同じように何もしないと育ちません。根を育てるためには、目の前にある一つ一つのこと、当たり前のことを大切にしたいと思います。例えば、あいさつをする、ありがとうと言う、一生懸命掃除をする、人のいやがることはしない、といったことです。これは、先輩から後輩へと受け継がれている「富士見魂五つの誇り」として、学校生活の道しるべとしてほしいことです。今日、皆さんは夢や希望をもって校門を歩いてきたことと思います。これから、夢や希望の花を咲かせるためにも、まずは、学校で仲間とともに過ごす時間から始まり、社会でも通用する習慣や考え方、人としての根っこを育ててほしいと思います。

行事予定

4 月		5 月	
12(月)	身体計測 給食開始 生徒会オリ	9(月)	部活動保護者会
13(火)	身体計測(複式) 5時間(~15)	10(火)	内科検診(2年)
18(月)	保護者会(1年・複式)	12(木)	県学力学習状況調査(全校)
19(火)	内科検診(1年・複式) 3年全国学テ	15(日)	通信陸上市予選(~16)
20(水)	耳鼻科検診(1年・2年) 短縮	16(月)	3年修学旅行(~18日)
21(木)	耳鼻科検診(2年・3年) 個人写真撮影	19(木)	1年知能検査
22(金)	保護者会(2年・3年)	24(火)	中間テスト
25(月)	尿検査(~26) 1年心臓検診	26(木)	尿検査2次(~27)
26(火)	内科検診(3年)		
28(木)	歯科検診(全校)		

